

獨佛全面的協力と米佛國交

吾人はすでに、目下進捗中の獨佛會談のもたらす意義に關して論じておいたものであるが未だ決定的協定をみざる。今日といへども、そのおよぼす影響は、樞軸側といはず、英米側といはず、甚大なる勢力の不均衡を來たすことあるべしとだけは、容易に豫断の出來得るほど重大であることは、誰しも一致した見方であろう。

先日、不注意にも、米国外交委員會席上、上院議員ベックの行つた理不盡なる演説が禍して、佛當局を刺殺し、(たゞ)に佛國のみに止まらず西、葡諸國、否、全世界に惡感を抱かしめたことはなしである。たゞし、英國には好感を與へたはず)これが大きな推進力となつて、ついに獨佛協定の目標に、米國參戰かである。たゞし、英國にはさりながらたとへ佛國側のかゝる反米運なくとも、それが早から獨佛の全面的協力の成立が豫見されておつたことは否み得ぬ。何故なら佛國が獨逸の軍門に降つて以來すでに一強國、否、一國家としての體制をも失ふほどに到つた今日の狀態にあつては、その將來の運命はたゞに獨逸の手中に握られてゐるのみならず、フランス自身の動きの如何によつては大フランス帝國の歴史にもあとを絶たんは從來のゆきがよりを深ぎよく一擲して、一舉百八十度轉換の國策を試みようとも、別に不思議とするにたらざるものがあるからである。

かかる佛國今回の英斷的外交を檢討してみると、對外的にも對外的にも、かくせねばならぬ理由が充分存在してゐたからである。即ち、對内的には、混沌たる敗戦國としての窮状に苦しめ、對外的にはその從來の國威を失ふとともに、樞軸抗戰の片腕とも恃んだ英國の意氣地なさを痛感して、すでに國力挽回の精も根もつき果て、抗獨に出でんかその崩壊は必須であり、中立せんか樞軸の壓迫は不斷で

ある窮地に立ち至つたのである。

軍をはかることが如何に賢明な策なるかを痛感したの安泰をはかることが如何に

絶対に不可態事であるからである。たゞへ、米國の參戰であつて、英國を倒ぼして自國將來獨力をもつて挽回せんことは

今若し、英國の勝利を期待を突くにひとしく绝望的であるまた、朝日を西に待つひ

る。何故ならば、英佛に加へといふことがようやく佛國に送までも即時中止し、加之

て北歐小國家群の軍隊をしてわかつてきただのだ。

米國が利害を超越してエンゼー

ーの如き理由に基いて、ルの行爲として世界に誇張し

て、進んで樞軸と協力しもつて、英國の今日の位置を、今後英軍對樞軸態度を決定し、米國の

の安泰をはかることが如何に

賢明な策なるかを痛感したの

ある。たゞへ、米國の參戰であつて、英國を倒ぼして自國將來獨力をもつて挽回せんことは

ベーバーの禁言に一矢を報ゆ

全歐が、すでに獨伊の鐵足下に

力せんか、從來の對佛物資援

米國から國交斷絶の三下り半

を突くにひとしく绝望的であるまた、朝日を西に待つひ

る。何故ならば、英佛に加へといふことがようやく佛國に送までも即時中止し、加之

て北歐小國家群の軍隊をしてわかつてきただのだ。

米國が利害を超越してエンゼー

ーの如き理由に基いて、ルの行爲として世界に誇張し

て、進んで樞軸と協力しもつて、英國の今日の位置を、今後英軍對樞軸態度を決定し、米國の

の安泰をはかることが如何に

賢明な策なるかを痛感したの

ある。たゞへ、米國の參戰であつて、英國を倒ぼして自國將來獨力をもつて挽回せんことは

ベーバーの禁言に一矢を報ゆ

全歐が、すでに獨伊の鐵足下に

力せんか、從來の對佛物資援

米國から國交斷絶の三下り半

を突くにひとしく绝望的であるまた、朝日を西に待つひ

る。何故ならば、英佛に加へといふことがようやく佛國に送までも即時中止し、加之

て北歐小國家群の軍隊をしてわかつてきただのだ。

米國が利害を超越してエンゼー

ーの如き理由に基いて、ルの行爲として世界に誇張し

て、進んで樞軸と協力しもつて、英國の今日の位置を、今後英軍對樞軸態度を決定し、米國の

の安泰をはかることが如何に

賢明な策なるかを痛感したの

ある。たゞへ、米國の參戰であつて、英國を倒ぼして自國將來獨力をもつて挽回せんことは

ベーバーの禁言に一矢を報ゆ

全歐が、すでに獨伊の鐵足下に

力せんか、從來の對佛物資援

米國から國交斷絶の三下り半

を突くにひとしく绝望的であるまた、朝日を西に待つひ

る。何故ならば、英佛に加へといふことがようやく佛國に送までも即時中止し、加之

て北歐小國家群の軍隊をしてわかつてきただのだ。

米國が利害を超越してエンゼー

ーの如き理由に基いて、ルの行爲として世界に誇張し

て、進んで樞軸と協力しもつて、英國の今日の位置を、今後英軍對樞軸態度を決定し、米國の

の安泰をはかることが如何に

賢明な策なるかを痛感したの

ある。たゞへ、米國の參戰であつて、英國を倒ぼして自國將來獨力をもつて挽回せんことは

ベーバーの禁言に一矢を報ゆ

全歐が、すでに獨伊の鐵足下に

力せんか、從來の對佛物資援

米國から國交斷絶の三下り半

を突くにひとしく绝望的であるまた、朝日を西に待つひ

る。何故ならば、英佛に加へといふことがようやく佛國に送までも即時中止し、加之

て北歐小國家群の軍隊をしてわかつてきただのだ。

米國が利害を超越してエンゼー

ーの如き理由に基いて、ルの行爲として世界に誇張し

て、進んで樞軸と協力しもつて、英國の今日の位置を、今後英軍對樞軸態度を決定し、米國の

の安泰をはかることが如何に

賢明な策なるかを痛感したの

ある。たゞへ、米國の參戰であつて、英國を倒ぼして自國將來獨力をもつて挽回せんことは

ベーバーの禁言に一矢を報ゆ

全歐が、すでに獨伊の鐵足下に

力せんか、從來の對佛物資援

米國から國交斷絶の三下り半

を突くにひとしく绝望的であるまた、朝日を西に待つひ

る。何故ならば、英佛に加へといふことがようやく佛國に送までも即時中止し、加之

て北歐小國家群の軍隊をしてわかつてきただのだ。

米國が利害を超越してエンゼー

ーの如き理由に基いて、ルの行爲として世界に誇張し

て、進んで樞軸と協力しもつて、英國の今日の位置を、今後英軍對樞軸態度を決定し、米國の

の安泰をはかることが如何に

賢明な策なるかを痛感したの

ある。たゞへ、米國の參戰であつて、英國を倒ぼして自國將來獨力をもつて挽回せんことは

ベーバーの禁言に一矢を報ゆ

全歐が、すでに獨伊の鐵足下に

力せんか、從來の對佛物資援

米國から國交斷絶の三下り半

を突くにひとしく绝望的であるまた、朝日を西に待つひ

る。何故ならば、英佛に加へといふことがようやく佛國に送までも即時中止し、加之

て北歐小國家群の軍隊をしてわかつてきただのだ。

米國が利害を超越してエンゼー

ーの如き理由に基いて、ルの行爲として世界に誇張し

て、進んで樞軸と協力しもつて、英國の今日の位置を、今後英軍對樞軸態度を決定し、米國の

の安泰をはかることが如何に

賢明な策なるかを痛感したの

ある。たゞへ、米國の參戰であつて、英國を倒ぼして自國將來獨力をもつて挽回せんことは

ベーバーの禁言に一矢を報ゆ

全歐が、すでに獨伊の鐵足下に

力せんか、從來の對佛物資援

米國から國交斷絶の三下り半

を突くにひとしく绝望的であるまた、朝日を西に待つひ

る。何故ならば、英佛に加へといふことがようやく佛國に送までも即時中止し、加之

て北歐小國家群の軍隊をしてわかつてきただのだ。

米國が利害を超越してエンゼー

ーの如き理由に基いて、ルの行爲として世界に誇張し

て、進んで樞軸と協力しもつて、英國の今日の位置を、今後英軍對樞軸態度を決定し、米國の

の安泰をはかることが如何に

賢明な策なるかを痛感したの

ある。たゞへ、米國の參戰であつて、英國を倒ぼして自國將來獨力をもつて挽回せんことは

ベーバーの禁言に一矢を報ゆ

全歐が、すでに獨伊の鐵足下に

力せんか、從來の對佛物資援

米國から國交斷絶の三下り半

を突くにひとしく绝望的であるまた、朝日を西に待つひ

る。何故ならば、英佛に加へといふことがようやく佛國に送までも即時中止し、加之

て北歐小國家群の軍隊をしてわかつてきただのだ。

米國が利害を超越してエンゼー

ーの如き理由に基いて、ルの行爲として世界に誇張し

て、進んで樞軸と協力しもつて、英國の今日の位置を、今後英軍對樞軸態度を決定し、米國の

の安泰をはかることが如何に

賢明な策なるかを痛感したの

ある。たゞへ、米國の參戰であつて、英國を倒ぼして自國將來獨力をもつて挽回せんことは

ベーバーの禁言に一矢を報ゆ

全歐が、すでに獨伊の鐵足下に

力せんか、從來の對佛物資援

米國から國交斷絶の三下り半

を突くにひとしく绝望的であるまた、朝日を西に待つひ

る。何故ならば、英佛に加へといふことがようやく佛國に送までも即時中止し、加之

て北歐小國家群の軍隊をしてわかつてきただのだ。

米國が利害を超越してエンゼー

ーの如き理由に基いて、ルの行爲として世界に誇張し

て、進んで樞軸と協力しもつて、英國の今日の位置を、今後英軍對樞軸態度を決定し、米國の

の安泰をはかることが如何に

賢明な策なるかを痛感したの

ある。たゞへ、米國の參戰であつて、英國を倒ぼして自國將來獨力をもつて挽回せんことは

ベーバーの禁言に一矢を報ゆ

